

**松浦川水系松浦川  
広域河川改修事業**

# 事業目的

## ○流下能力不足による浸水被害が発生

平成2年7月洪水

浸水戸数 床上浸水 13戸

床下浸水 93戸

浸水面積 146ha

## ○浸水被害の軽減を図る

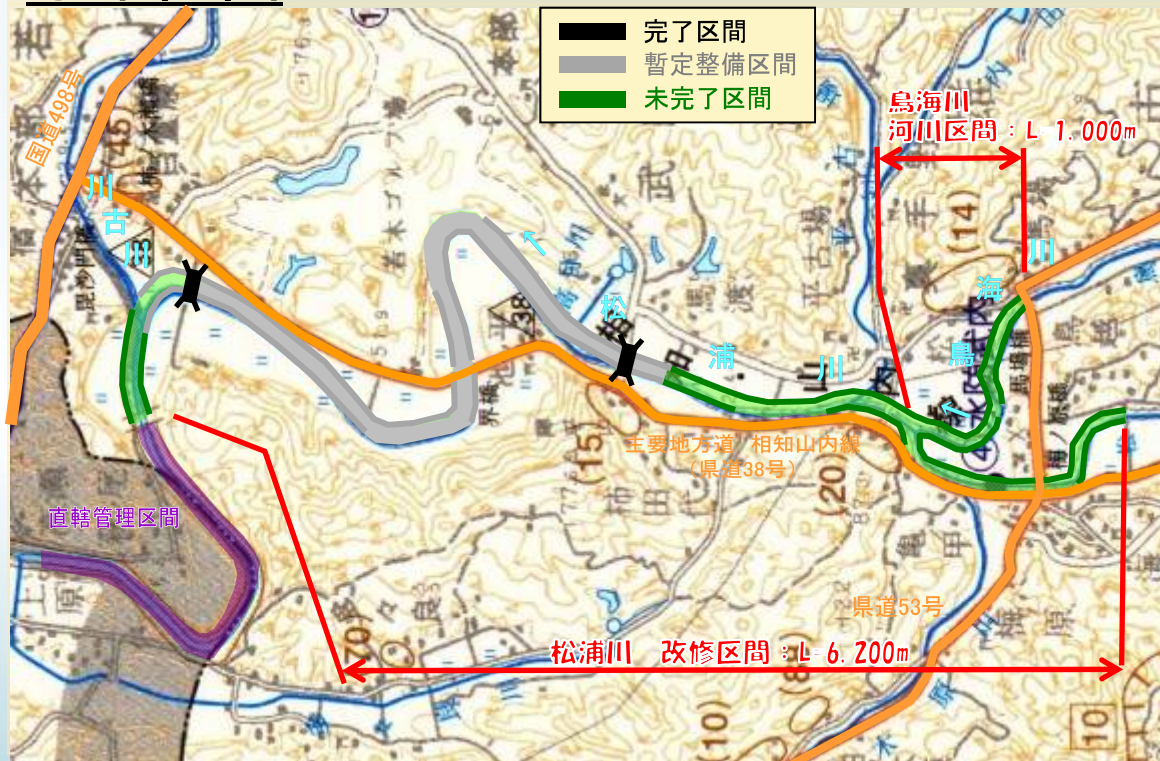
- ・流路是正、狭窄部解消を実施
- ・治水安全度の向上を図る

計画流量  $800\text{m}^3/\text{s}$

計画治水安全度  $1/30$

# 松浦川広域河川改修事業 着手年:平成14年度 事業地:武雄市

## ○平面図



## ○事業概要

- ・全体事業費 5,100百万円
- ・事業期間 H14~H35
- ・改修延長 松浦川:6,200m  
烏海川:1,000m
- ・計画流量 800m<sup>3</sup>/s
- ・計画治水安全度 1/30
- ・築堤・掘削・護岸、  
橋梁8基、堰1基
- ・費用対効果 1.48

# 改修方針

## ○治水効果の早期発現と下流直轄区間との調整

改修については、適宜、国(武雄河川事務所)と調整を図り推進している。

- 1/5対応・・・直轄区間の現況流下能力見合い(現在実施中)
- 1/10対応・・・直轄区間暫定改修完了後に着手
- 1/30対応・・・直轄区間完成後に着手

管理者	整備目標					
佐賀県 (当該事業)	1/5	[Blue hatched bar]				
	1/10		[Yellow hatched bar]			
	1/30		[Pink hatched bar]			
国 (直轄事業)	1/10	[Purple hatched bar]				
	1/30		[Purple hatched bar]			

標準横断面図



# 松浦川 航空写真



## ○事業進捗状況

- ・川古川合流点から真西橋上流までの約3,500mの暫定築堤及び暫定河道掘削を実施中
- ・H23年度末進捗率 41.7%(事業費ベース) ・年平均進捗率 4.2%

# 費用対効果 B/C

総費用額C: 治水施設の整備及び維持管理に要する総費用

総便益額B: 治水施設整備によってもたらされる総便益額

(被害軽減額)

(総費用額C及び総便益額Bをそれぞれ現在価値化し比較する)

総費用C: 5,688百万円

総便益B: 8,390百万円

内訳

・一般資産被害(家屋、家庭用品、事業所資産、農漁家資産)	2,810百万円
・農作物被害(水稻、畑作物)	420百万円
・公共土木施設等災害被害(道路、橋梁、農地等)	4,743百万円
・間接被害(事業所の営業停止被害、応急対策被害等)	417百万円

※ 費用対効果

$$B/C = 8,390 / 5,688 = 1.48$$

# 平成2年7月（梅雨前線） 松浦川

床上浸水 13戸  
床下浸水 93戸  
浸水面積 146ha



真西橋左岸上流の浸水状況

連続雨量455mm  
最大日雨量271mm  
時間最大雨量61mm  
(国土交通省 池ノ平観測所)

梅の原橋付近の浸水状況



# 平成21年7月（梅雨前線） 松浦川



梅の原橋付近の浸水状況

連続雨量391mm  
最大日雨量229mm  
時間最大雨量48mm  
(国土交通省 池ノ平観測所)



主要地方道 相知山内線の浸水状況



梅の原橋下流の状況



# 上流部未着手区間状況

梅の原橋下流の状況



# 暫定堤防完成区間の状況

早川橋上流の状況



# 多自然川づくりの状況

着工前:ブロック積護岸



施工直後



従前のブロック積護岸を取壊し、土堤としたことで、水際の植生が活着し空間の連続性が創出されている。

施工後3年

真西橋下流の状況



# 今後の 「松浦川広域河川改修事業」 の継続について

## ☆河川改修の効果☆

①治水安全度の向上

②平成2年7月洪水による

床上浸水 13戸

床下浸水 93戸

浸水面積 146ha の軽減

③地域住民の安心・安全の確保

## ☆今後の事業展開☆

・事業を継続し、早期完成を図りたい